

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	68
2. 大学等名	東日本国際大学
3. テーマ	V. 卒業時における質保証の取組の強化
4. 取組学部等名	全学[経済経営学部／健康福祉学部]
5. 事業期間	平成28年度～令和元年度（4年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(393.5文字)
<p>東日本国際大学ではディプロマ・ポリシーに表現されたコンピテンシー群は四年間続く必修の少人数ゼミと専用の設置科目において育成されてきた。GPAやキャップ制も導入され学びの質を高めるための制度的枠組も構築されている。だが課程全体として今後の世界で生き働いていくためのコンピテンシーを育てる制度的な枠組は弱い。また知識以外の学びの成果を客観的に提示するための仕組みに欠けている。今回の事業ではカナダで開発されたICEルーブリックを用い、習得されるべきコンピテンシー群を一連の動詞表現のバンクへと再構築、各科目担当教員が低コストで学生に期待される学修成果を考慮して授業設計できるようにし、学生が評価基準に加え学びの方向を意識化できるようにし、ディプロマ・サプリメントとして学修成果を可視化、外部評価者と教育成果の測定言語を共有することで課程全体の教育改善のPDCAサイクルを回せるモデルを開発・実施する。</p>	